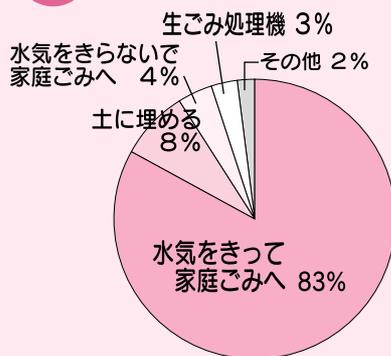


環境貯金箱作戦キャンペーンで 1,800人に聞きました！

6月から11月まで、市内のスーパーマーケットやイベントなどで、ごみ減量を呼びかける「環境貯金箱作戦キャンペーン」を13回行いました。その会場で約1,800人のかからいただいたアンケート。

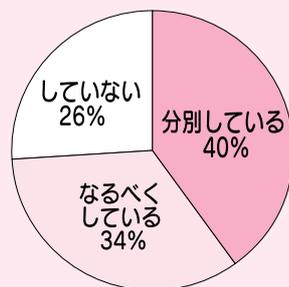
みなさんのご家庭では、どのくらいごみを減らす取り組みが進んでいるのでしょうか。

Q 生ごみは、どのようにして捨てていますか？



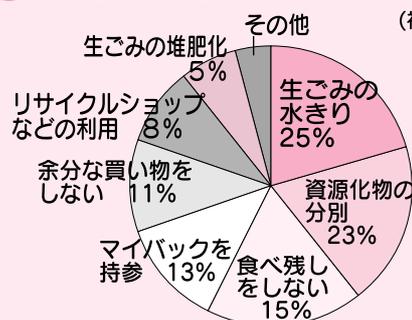
ほとんどのかたがきちんと水気をきって捨ててくれているようです。最後のもうひとしぼりを、よろしく。

Q 包装紙や紙箱などを分別していますか？



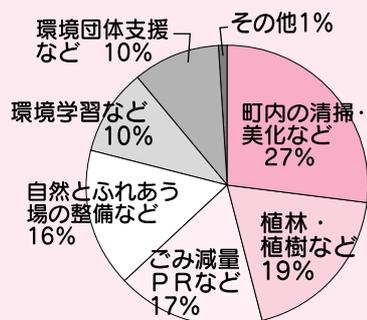
紙類の分別をさらに徹底すれば、ごみはまだまた減らせます。ティッシュや汚れた紙以外は資源化物に出しましょう。

Q ごみを減らすために取り組んでいることは何ですか？



いろんな減量作戦ありますね！ご協力ありがとうございます。

Q ごみ減量で節約したお金をどのようなことに使ったらよいと思いますか？



環境貯金の使いみちのアイデア募集中です！



わが家の1回の家庭ごみは
レジ袋1袋分！

お見せします

e-市民 荻原さん家の ごみ減量作戦

秋田市では、省エネ、ごみ減量など環境にやさしい行動に取り組んでいるご家庭を「e-市民」に認定しています。荻原雪子さん(御野場)のお宅は、八月の1か月間、節電に取り組んで初級コースを修了しました。現在は、ごみ減量などに6か月間取り組む中級コースに挑戦中です。

荻原家で家庭ごみの収集日に出す量は、一度に大体一・五キ。四大家族にしてはとつても少なめだと思いませんか？ごみを減らすために、家族ぐるみでこんなことに取り組んでいます。ほかに、にんじんや大根は皮まで料理に使うなど、ごみを出さない工夫がいろいろ。最近では、服や雑貨のフリママーケットにも挑戦してみたとそうです。「ちょっとしたことなので、慣れてしまえば面倒じゃないですよ。でも、自分の家のごみが多いか少ないかって、自分ではわからないですよ。e-市民に応募すると、報告したごみの量を判定してもらえるので、わが家の減量の成果をみるいい機会にもなってます」と荻原さん。

ご家庭で省エネ、ごみ減量を実践し、環境部に状況を報告していただきます。

認定者には、ごみ減量や省エネについてのアドバイスをするほか、認定証とエコアちゃんグッツをさしあげます。どしどしご応募ください。

初級コース 環境にやさしい行動を1項目以上、1か月取り組み、報告します。

中・上級コース 環境にやさしい行動を1項目以上、6か月取り組み、2か月ごとに報告。上級はさらに6か月継続。

問い合わせ 環境企画課tel(863)6632

あなたも
e-市民！



あなたもできる！ 実践編

1人1日100^g！

市民全員が1人1日100^gのごみを減らせば、32万市民で1か月間に約900^tの減量が可能なはず。金額にして月に約100万円です！

ごみ100^gは、新聞紙5枚、バナナの皮2枚、Tシャツ1枚、たまご2個...

ひとりひとりが少しずつ減らせばいいんです。12月もみんなでがんばってみましょう！ 12月の貯金額は2月の広報で発表します。

増やすか、減らすか... やりやすいことから始めてみませんか！



紙袋を紙専用のごみ箱に

台所や部屋の隅に紙袋を置いておきます。菓子箱やメモ紙など、紙類は全部、紙袋の中にポイッ。いっぱいになったら紙ひもで十字に縛って、新聞紙などと一緒に資源化物へ。

ごみを減らす あの手この手

茶殻・コーヒー殻・果物の皮などを乾かす

日光で乾燥させれば、重さが4分の1に減ります



食品の白色トレイはスーパーマーケットなどの回収箱へ



食べ残しをしない

家庭での食べ残しや廃棄は、全国平均で1人1日あたり56.5^g。食事は食べきれ的分だけ作り、食べ残しをしないようにしましょう。

過剰な包装は断りましょう

詰め替え商品を買きましょう

使い捨て商品避け、できるだけ詰め替え商品を選びましょう。

ものの買い過ぎに注意！

本当に必要かどうか、考えてから買しましょう。めったに使わない物は、借りることも考えましょう。

生ごみの堆肥化

生ごみ処理機やコンポスト容器(*)などを使って、庭や畑の堆肥づくりにチャレンジ！

不用品はリサイクルショップやフリーマーケットへ

*コンポスト容器...大きめのポリバケツを逆さにしたような形の容器で、庭などに置き、生ごみと土を混ぜて入れておき、堆肥化します

生ごみの水分をよくしぼる
捨てる前に、水切り袋に入れたまま、もうひとしぼり。水切り前は850グラムだった生ごみが、水切り後は70グラムになりました。



ごみの重さを量る
ごみを持って体重計に乗り、ごみの重さを測定。ごみの収集日と重さはカレンダーにチェックします。いつもより重いときは、その理由を考えてみます。ごみの量を気にするようになると、自然にごみが減ってきます。



買い物にはマイバックを持っていく
レジ袋をもらわずにスタンプをためると景品と交換してくれるスーパーもあって、一石二鳥。